



# ゴン だ よ り



## ◎どこまで教えて

どこでわかったと判断すればいいのでしょうか

(小4のお子さまのお母さまより)

◎前回のお便りの「どこまで教えていいか」もなるほどと思うことがいくつかありました。計算や漢字ができれば基本の力があると思っていましたが、それができていたお兄ちゃんが中学に入ってからテストはきびしい感じです。小学校のテストや通知表をみて安心してはいけなと思っています。そこで、家でわからないところを教えたとして、どうなれば子どもが理解できたと判断できるのでしょうか。

☆答え合わせの段階でまずチェックできますね。赤ペンを使って正解で○ならOK。

まちがっていたら ×をつけて、正しい答えをかきますね。そして次の問題の答え合わせ・・・が普通ですね。

★ここでストップです。間違えた問題をじっくりみて、どこに原因があったのかを赤ペンで書き込みます。

アンダーラインでも悪くはないのですが、言葉で書き込んだ方が印象に残ります。

(問題の中のたす、ひくの関係が逆だった。わるとわられるものが反対。計算の通りがずれていた。字が小さくごちゃごちゃで小数点がずれた。約分をわすれた。単位計算で0の増やし方、減らし方のかんちがい・・・など)

★そのあとで、ノートの違いページで全く同じ問題を解いてみます。自分だけでできれば「よっしゃあ」です。

また違っていたり、途中でわからなくなったりしたら、丁寧に教えて、また赤ペンで注意点を書き込みましょう。

そして、またまたノートの違うページで自分だけでできるかやってみます。(小中高 何年生でも効果大!!)

勉強もスポーツもコーチといっしょにやっていると、できた気がします。「わかった?」と聞くと「わかった!」と答えます。本人もコーチも「よし、わかったぞ。いいぞ」と思ってしまいます。わかった「つもり」です。

ここから、しぶとくやってみて、できなかつたらまたやり方を確認して本当に自分だけで「わかった」「できる」までねばれることが学ぶ力ですね。

どうか丁寧に教えることはずうっと積み重ねましょう。合言葉は 「丁寧に教えて、たくさん練習です。」

### 10月

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 31 |    |    |    |    |

21 22 星の観察会 勉強法

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   |   | 2 |   |
|   | 2 |   |   |
|   | 3 | 4 |   |
| 2 |   |   | 3 |



## 授業日休日 予定 ご確認ください



かけっこ教室 10月15日 芝生広場

星の観察会 学習法マスター合宿 鹿島槍スポーツガーデン 10月21日 22日

(申し込み 10月13日 までにお知らせください)